

秀逸

雨のうた

小城 颯馬

太陽光が	うすくなる
沢山あめが	降ってきた
雲のはいろ	こくなつて
ざざんざあざあ	雨唄う
遠くで閃光	「ピカッ」だよ
葉のミドリイロ	あざやかだ
窓に水滴	はねかえり
洗たく物や	ベランダに
真っ黒なカゲ	うきあがる
ああ良い音だ	雨の詩
逃げおくれていた	アブラゼミ
ジリジリジリと	泣いていた
陽が	
さした	
あかるく	
なってきた	
夏休み最後の	
夕立たちは	
ゆっくり	
遠くへ	
去っていった。	